

令和 8 年度

R 8 側溝整備工事（市道 3 1 2 4 号線）
工 事 設 計 書

都市整備部土木課

令和 8 年度	工事番号			課長	係長	浄書校合	設計		
工事名	R 8 側溝整備工事（市道 3 1 2 4 号線）								
路線河川名	市道 3 1 2 4 号線				工事場所	木更津市木更津二丁目 3 番地先			
予算科目									
設計金額									
工事価格									
消費税及び地方消費税相当額									
設計説明	工事延長 L = 7 8 . 9 m 消音型側溝布設（4 0 0 × 4 0 0 × 2 0 0 0） L = 1 4 . 0 m 消音型側溝布設（4 0 0 × 5 0 0 × 2 0 0 0） L = 5 8 . 0 m 消音型側溝布設（4 0 0 × 6 0 0 × 2 0 0 0） L = 7 . 0 m 消音型側溝布設（3 0 0 × 3 0 0 × 1 0 0 0） L = 1 . 0 m 集水桝設置 N = 2 基								
工事施行方法		請 負		工事期間	令和 8 年 1 1 月 3 0 日限り				

本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費		式	1			
道路改良		式	1			
舗装工		式	1			
舗装打換え工		式	1			
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚:50 m m	m	76			第 1 号内訳書参照
汚泥運搬処理	(株)ダイセキ L=8.9km	式	1			第 2 号内訳書参照
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 :5cm	m2	150			第 3 号内訳書参照
殻運搬	舗装版破碎	m3	8			第 4 号内訳書参照
殻処分	アスファルト殻	t	18			第 5 号内訳書参照
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 仕上 り厚:200m m	m2	15			第 6 号内訳書参照
上層路盤(歩道部)	路盤材(砕石各種) 路盤 材規格:MS-25 仕上り厚 :150m m	m2	69			第 7 号内訳書参照

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスファルト混合物 (13) 舗装厚:50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上	m2	149			第 8 号内訳書参照
排水構造物工		式	1			
作業土工		式	1			
床掘り	土砂	m3	20			第 9 号内訳書参照
埋戻し	土砂	m3	2			第 10 号内訳書参照
路盤廃材運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	20			第 11 号内訳書参照
路盤廃材処分		t	38			第 12 号内訳書参照
側溝工		式	1			
U型側溝	U型側溝規格:消音型側溝 400×400×2000	m	14			第 13 号内訳書参照
U型側溝	U型側溝規格:消音型側溝 400×500×2000	m	58			第 14 号内訳書参照
U型側溝	U型側溝規格:消音型側溝 400×600×2000	m	7			第 15 号内訳書参照

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
U型側溝	U型側溝規格:消音型側溝 300×300×1000	m	1			第 16 号内訳書参照
側溝蓋	Co蓋 400用	枚	142			第 17 号内訳書参照
側溝蓋	Gr蓋 400用	枚	16			第 18 号内訳書参照
側溝蓋	Co蓋 300用	枚	1			第 19 号内訳書参照
コンクリート削孔		孔	8			第 20 号内訳書参照
調整コンクリート		m3	4			第 21 号内訳書参照
土間コンクリート工	t=100mm	m2	33			第 22 号内訳書参照
集水桝・マンホール工		式	1			
現場打ち集水桝	500×500 現場打材 18- 8-25(高炉)無し	箇所	1			第 23 号内訳書参照
現場打ち集水桝	700×500 現場打材 18- 8-25(高炉)無し	箇所	1			第 24 号内訳書参照
構造物撤去工		式	1			

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物取壊し工		式	1			
コンクリート取壊し運搬処理	鉄筋構造物	m3	15			第 25 号内訳書参照
仮設工		式	1			
水替工		式	1			
ポンプ排水		式	1			第 26 号内訳書参照
交通管理工		式	1			
交通誘導警備員		人日	45			第 27 号内訳書参照
直接工事費計		式	1			
共通仮設		式	1			
共通仮設費(積上分)		式	1			
準備費		式	1			

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
試料採取		式	1			第 28 号内訳書参照
技術管理費		式	1			
分析費		式	1			第 29 号内訳書参照
共通仮設費(率計上)		式	1			
共通仮設費(率計上)		式	1			
共通仮設費(率計上)		式	1			
純工事費		式	1			
現場管理費		式	1			
工事原価		式	1			
一般管理費等		式	1			
工事価格		式	1			

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
消費税及び地方消費税相当額		式	1			
工事費計		式	1			

第 1 号 内訳書

舗装版切断

アスファルト舗装版 舗装厚:50mm

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断費 舗装版切断		m	1			第 1 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 2 号 内訳書

汚泥運搬処理

(株)ダイセキ L=8.9km

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
汚泥処分費	ドラム缶	kg	141			見積リ・2026/04/01
現場発生品及び支給品運搬	ドラム缶	t	0.2			第 2 号単価表参照
現場発生品及び支給品積込・荷卸	ドラム缶	t	0.2			第 3 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 3 号 内訳書

舗装版破碎

アスファルト舗装版 舗装版厚:5cm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破碎積込（小規模土工）		m2	1			第 4 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 4 号 内訳書

殻運搬

舗装版破碎

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬費 殻運搬		m3	1			第 5 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 5 号 内訳書

殻処分

アスファルト殻

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
A S 廃材処分費	君津	t	1			
計	1 t 当り					

第 6 号 内訳書

下層路盤(歩道部)

再生クラッシュアン RC-40
仕上り厚:200mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤 (歩道部)		m2	1			第 6 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 7 号 内訳書

上層路盤(歩道部)

路盤材(砕石各種) 路盤材規格:MS-25
仕上り厚:150mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤材敷均し・締固め費 上層路盤 (歩道部)		m2	1			第 7 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 8 号 内訳書

表層(車道・路肩部)

再生密粒度アスファルト混合物(13)

舗装厚:50mm 1.4m未満 (1層当り平均仕上

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層 (車道・路肩部)		m2	1			第 8 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 9 号 内訳書

床掘り

土砂

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り		m3	1			第 9 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 10 号 内訳書

埋戻し

土砂

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し費 埋戻し		m3	1			第 10 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 11 号 内訳書

路盤廃材運搬

土砂(岩塊・玉石混り土含む)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬費 土砂等運搬		m3	1			第 11 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 12 号 内訳書

路盤廃材処分

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤廃材処分費	君津	t	1			
計	1 t 当り					

第 13 号 内訳書

U型側溝

U型側溝規格:消音型側溝
400×400×2000

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝		m	1			第 12 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 14 号 内訳書

U型側溝

U型側溝規格:消音型側溝
400×500×2000

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝		m	1			第 13 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 15 号 内訳書

U型側溝

U型側溝規格:消音型側溝
400×600×2000

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝		m	1			第 14 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 16 号 内訳書

U型側溝

U型側溝規格:消音型側溝
300×300×1000

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝設置費 U型側溝		m	1			第 15 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 17 号 内訳書

側溝蓋

Co蓋 400用

1 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版		枚	1			第 16 号単価表参照
計	1 枚 当り					

第 18 号 内訳書

側溝蓋

Gr蓋 400用

1 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版		枚	1			第 17 号単価表参照
計	1 枚 当り					

第 19 号 内訳書

側溝蓋

Co蓋 300用

1 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版設置費 蓋版		枚	1			第 18 号単価表参照
計	1 枚 当り					

第 20 号 内訳書

コンクリート削孔

1 孔 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
削孔		孔	1			
計	1 孔 当り					

第 21 号 内訳書

調整コンクリート

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート		m3	1			第 19 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 22 号 内訳書

土間コンクリート工

t=100mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート		m3	0.1			第 20 号単価表参照
溶接金網 (G 3 5 5 1)	径 3 . 2 × 1 5 0 × 1 5 0	m2	1			
不陸整正	(路床又は路盤の補足材敷均転圧)	m2	1			第 21 号単価表参照
路盤材	RC-40	m3	0.038			
スペーサー		個	4			物積平均・2026/06/01・建物P181、積資P231
計	1 m2 当り					

第 23 号 内訳書

現場打ち集水桝

500×500

現場打材 18-8-25(高炉) 無し

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		箇所	1			第 22 号単価表参照
蓋版		枚	1			第 23 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 24 号 内訳書

現場打ち集水桝

700×500

現場打材 18-8-25(高炉) 無し

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場打ち集水桝・街渠桝（本体）		箇所	1			第 24 号単価表参照
蓋版		枚	1			第 25 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 25 号 内訳書

コンクリート取壊し運搬処理

鉄筋構造物

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート取壊し・運搬・処理費(複合) 構造物とりこわし・運搬・処分	(複合)	m3	1			第 26 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 26 号 内訳書

ポンプ排水

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ポンプ運転工		日				第 27 号単価表参照
ポンプ据付・撤去工		現場	1			第 28 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 27 号 内訳書

交通誘導警備員

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員費 交通誘導警備員 B		人日	1			第 29 号単価表参照
計	1 人日 当り					

第 28 号 内訳書

試料採取

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断		m	8			第 1 号単価表参照
舗装版破碎積込（小規模土工）		m2	1			第 4 号単価表参照
床掘り		m3	0.4			第 9 号単価表参照
下層路盤（歩道部）		m2	1			第 30 号単価表参照
上層路盤（歩道部）		m2	1			第 31 号単価表参照
表層（車道・路肩部）		m2	1			第 8 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 29 号 内訳書

分析費

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉛	水質分析	検体	1			
ヒ素	水質分析	検体	1			
水素イオン濃度（PH）	水質分析（生活環境項目）	検体	1			
計	1 式 当り					

第 1 号 単価表 舗装版切断 1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)]	湿式 切削深20cm級 フﾟﾚｰﾄﾞ 径 φ 56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ﾌﾟﾚｰﾄﾞ)	径 1 8 インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

※施工パッケージ単価

第 1 号 付 属 1

SCB430510				
J01	舗装版種別 = 1	アスファルト舗装版	J02	アスファルト舗装版厚 = 1
J05	費用の内訳 = 1	全ての費用		15cm以下

第 2 号 単価表

現場発生品及び支給品運搬

ドラム缶

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
トラック [クレーン装置付]	ベーストラック 2 t 積 吊能力 2. 9 t	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 t 当り					

SCB010410

J01 トラック機種 = 1 クレーン装置付2t積、吊能力2.9t
J04 片道運搬距離 (km) DID有 = 5 9.0km以下

J02 DID区間の有無 = 2 有り

第 3 号 単価表

現場発生品及び支給品積込・荷卸

ドラム缶

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
トラック [クレーン装置付]	ベーストラック 2 t 積 吊能力 2. 9 t	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 t 当り					

SCB010420
J01 トラック機種 = 1

クレーン装置付2t積、吊能力2.9t

第 4 号 単価表 舗装版破碎積込（小規模土工）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） [標準]	排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.13m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB210720
J01 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 5 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3

J03 DID区間の有無 = 2

J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎

有り

全ての費用

J02 積込工法区分 = 4

J10 運搬距離 (km) (DID区間有) = 8 5.0km以下

機械積込 (小規模土工)

第 6 号 単価表

下層路盤（歩道部）

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） 〔超小旋回型〕	排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.11m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	%	Z1			
軽油		%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 6 号 付 属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m2 当 り					

SCB410031

J01 全仕上り厚（実数入力） [mm] = 200

J02 施工区分 = 1

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 7 号 単価表

上層路盤（歩道部）

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） 〔超小旋回型〕	排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.11m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用） 〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
路盤材		%	Z1			
軽油		%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 7 号 付 属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m2 当 り					

SCB410041

J01 全仕上り厚（実数入力） [mm] = 150

J03 材料 = 7

路盤材（各種）

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 8 号 単価表

表層（車道・路肩部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
アスファルト合材（溶融スラグ入り）	再生密粒度アスコン13	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 8 号 付 属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 35

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

各種（2. 30以上2. 40t/m3未満）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 2

ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3

第 9 号 単価表

床掘り

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210030

J01 土質 = 1
J05 費用の内訳 = 1

土砂
全ての費用

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 10 号 単価表

埋戻し

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
ランマ	質量6 0～8 0 k g	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 10 号 付属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m3 当 り					

SCB210410

J01 施工方法 = 5

J04 費用の内訳 = 1

上記以外（小規模）

全ての費用

J02 土質 = 1

土砂

第 11 号 単価表

土砂等運搬

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2

J03 土質 = 1

J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 8 5.5km以下

小規模

土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

5.5km以下

J02 積込機種・規格 = 5

J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)

有り

第 12 号 単価表

U型側溝

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝 昼間	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 制約無	m	10			
側溝		個	5			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	0.756			0.63*1.2
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821410

J01 作業区分 = 1 据付け
 J03 夜間作業の有無 = 1 無し
 J06 U型側溝の規格・仕様 = 2 L=2000mm
 J08 時間的制約の有無 = 1 無し
 J10 基礎碎石施工の有無 = 1 有り
 J12 基礎碎石設計数量（実数入力）[m3/10m] = 0.63

J02 L=1000・L=4000の使用の有無 = 1 無し
 J04 U型側溝の種類 = 4 側溝（各種）
 J07 U型側溝の質量 = 3 1000kg/個以下
 J09 施工箇所における補正 = 1 無し
 J11 基礎碎石の種類 = 5 再生クラッシャー 40～0

第 13 号 単価表

U型側溝

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝 昼間	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 制約無	m	10			
側溝		個	5			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	0.756			0.63*1.2
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821410

J01 作業区分 = 1 据付け
J03 夜間作業の有無 = 1 無し
J06 U型側溝の規格・仕様 = 2 L=2000mm
J08 時間的制約の有無 = 1 無し
J10 基礎碎石施工の有無 = 1 有り
J12 基礎碎石設計数量（実数入力）[m3/10m] = 0.63

J02 L=1000・L=4000の使用の有無 = 1 無し
J04 U型側溝の種類 = 4 側溝（各種）
J07 U型側溝の質量 = 3 1000kg/個以下
J09 施工箇所における補正 = 1 無し
J11 基礎碎石の種類 = 5 再生クラッシャー 40～0

第 14 号 単価表

U型側溝

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝 昼間	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 制約無	m	10			
側溝		個	5			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	0.756			0.63*1.2
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821410

J01 作業区分 = 1 据付け
 J03 夜間作業の有無 = 1 無し
 J06 U型側溝の規格・仕様 = 2 L=2000mm
 J08 時間的制約の有無 = 1 無し
 J10 基礎碎石施工の有無 = 1 有り
 J12 基礎碎石設計数量（実数入力）[m3/10m] = 0.63

J02 L=1000・L=4000の使用の有無 = 1 無し
 J04 U型側溝の種類 = 4 側溝（各種）
 J07 U型側溝の質量 = 3 1000kg/個以下
 J09 施工箇所における補正 = 1 無し
 J11 基礎碎石の種類 = 5 再生クラッシャー 40～0

第 15 号 単価表

U型側溝

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝 昼間	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 制約無	m	10			
側溝		個	10			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	0. 504			0. 42*1. 2
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821410

J01 作業区分 = 1 据付け
J03 夜間作業の有無 = 1 無し
J06 U型側溝の規格・仕様 = 2 L=2000mm
J08 時間的制約の有無 = 1 無し
J10 基礎碎石施工の有無 = 1 有り
J12 基礎碎石設計数量（実数入力）[m3/10m] = 0. 42

J02 L=1000・L=4000の使用の有無 = 2 L=1000mm
J04 U型側溝の種類 = 4 側溝（各種）
J07 U型側溝の質量 = 3 1000kg/個以下
J09 施工箇所における補正 = 1 無し
J11 基礎碎石の種類 = 5 再生クラッシャー 40～0

第 16 号 単価表

蓋版

100 枚 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間	1 7 0 k g 以下 制約無	枚	100			
側溝蓋		枚	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB821430

J01 作業区分 = 1

J03 蓋版の種類 = 5

J06 時間的制約の有無 = 1

据付け

蓋版（各種）

無し

J02 夜間作業の有無 = 1

J05 規格・仕様区分 = 2

J07 施工箇所における補正 = 1

無し

40を超え170kg/枚以下

無し

第 17 号 単価表

蓋版

100 枚 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間	4 0 k g 以下 制約無	枚	100			
側溝蓋		枚	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB821430

J01 作業区分 = 1

J03 蓋版の種類 = 5

J06 時間的制約の有無 = 1

据付け

蓋版（各種）

無し

J02 夜間作業の有無 = 1

J05 規格・仕様区分 = 1

J07 施工箇所における補正 = 1

無し

40kg/枚以下

無し

第 18 号 単価表

蓋版

100 枚 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間	1 7 0 k g 以下 制約無	枚	100			
側溝蓋		枚	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB821430

J01 作業区分 = 1

J03 蓋版の種類 = 5

J06 時間的制約の有無 = 1

据付け

蓋版（各種）

無し

J02 夜間作業の有無 = 1

J05 規格・仕様区分 = 2

J07 施工箇所における補正 = 1

無し

40を超え170kg/枚以下

無し

第 19 号 単価表 コンクリート 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	1 8－8－2 5 （2 0） 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2
J03 コンクリート規格 = 41
J07 現場内小運搬の有無 = 1

小型構造物
18-8-25（高炉）
有り

J02 打設工法 = 4
J05 養生工の種類 = 1
J13 費用の内訳 = 1

人力打設
養生無し
全ての費用

第 20 号 単価表 コンクリート 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	1 8－8－2 5 （ 2 0 ） 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 1

J03 コンクリート規格 = 41

J07 現場内小運搬の有無 = 2

無筋・鉄筋構造物

18-8-25（高炉）

無し

J02 打設工法 = 4

J05 養生工の種類 = 2

J13 費用の内訳 = 1

人力打設

一般養生

全ての費用

第 21 号 単価表

不陸整正

(路床又は路盤の補足材敷均転圧)

100 m2 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
小型バックホウ運転		日				第 32 号単価表参照
タイヤローラ運転		日				第 33 号単価表参照
振動ローラ運転		日				第 34 号単価表参照
諸雑費 (率+まるめ)		式				
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SWB430630

J01 総施工量 = 1

J03 すりつけ作業の有無 = 1

1000m2未満
有

J02 打換え区分 = 2

舗装版のみの打換え

第 22 号 単価表

現場打ち集水桝・街渠桝（本体）

1 箇所 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	山積0. 8 m 3 （平積0. 6 m 3 ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
特殊作業員		%	R4			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	1 8－8－2 5 （2 0） 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
軽油		%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 22 号 付 属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 箇 所 当 り					

SCB222950

J01 コンクリート規格 = 14

J03 コンクリート打設工法 = 2

18-8-25 (高炉)

人力打設

J02 1箇所当りコンクリート使用量 = 6

J04 養生工の種類 = 1

0.30m3を超え0.32m3以下

一般養生・特殊養生 (練炭)

第 23 号 単価表

蓋版

100 枚 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間	1 7 0 k g 以下 制約無	枚	100			
集水枥蓋 (Gr蓋)	500×500	枚	100			物積平均・2026/07/10・建物P276 積資P396
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB821430

J01 作業区分 = 1

J03 蓋版の種類 = 5

J06 時間的制約の有無 = 1

据付け

蓋版 (各種)

無し

J02 夜間作業の有無 = 1

J05 規格・仕様区分 = 2

J07 施工箇所における補正 = 1

無し

40を超え170kg/枚以下

無し

第 24 号 単価表

現場打ち集水桝・街渠桝（本体）

1 箇所 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
特殊作業員		%	R4			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25（20） 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
軽油		%	Z2			

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 箇 所 当 り					

SCB222950

J01 コンクリート規格 = 14

J03 コンクリート打設工法 = 2

18-8-25 (高炉)

人力打設

J02 1箇所当りコンクリート使用量 = 11

J04 養生工の種類 = 1

0.40m3を超え0.43m3以下

一般養生・特殊養生 (練炭)

第 25 号 単価表

蓋版

100 枚 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間	1 7 0 k g 以下 制約無	枚	100			
集水枳蓋（Gr蓋）	500×700	枚	100			見積り・2026/06/12
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB821430

J01 作業区分 = 1

J03 蓋版の種類 = 5

J06 時間的制約の有無 = 1

据付け

蓋版（各種）

無し

J02 夜間作業の有無 = 1

J05 規格・仕様区分 = 2

J07 施工箇所における補正 = 1

無し

40を超え170kg/枚以下

無し

第 26 号 単価表

構造物とりこわし・運搬・処分

(複合)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし		m3	1			第 35 号単価表参照
鉄筋ＣＯ処分費	君津	t	2.5			
殻運搬		m3	1			第 36 号単価表参照
計	1 m3 当り					

SWB824020

J01 構造物区分 = 2
 J03 夜間作業の有無 = 1
 J05 DID区間の有無 = 2

鉄筋構造物
 無し
 有り

J02 時間的制約の有無 = 1
 J04 低騒音・低振動対策 = 2
 J06 運搬距離 (km) = 3

無し
 不要
 5.7以下

第 27 号 単価表

ポンプ運転工

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
工事用水中モータポンプ [普通型]	潜水ポンプ 口径φ 5 0 m m 全揚程 5 m	日				
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動]	3 k V A	日				
諸雑費		式				
計	1 日 当り					

SDGD10670

J01 排水方法・動力源 = 2

作業時排水 発動発電機

J02 ポンプ台数（実数入力）[台] = 1

第 28 号 単価表

ポンプ据付・撤去工

1 現場 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
計	1 現場 当り					

SDGD10680

第 29 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 30 号 単価表

下層路盤（歩道部）

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東京単価	積算単価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） 〔超小旋回型〕	排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.11m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用） 〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
路盤材		%	Z1			
軽油		%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 30 号 付 属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m2 当 り					

SCB410031

J01 全仕上り厚（実数入力） [mm] = 200

J02 施工区分 = 1

J03 材料 = 7

路盤材（各種）

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 31 号 単価表

上層路盤（歩道部）

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） 〔超小旋回型〕	排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.11m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
路盤材		%	Z1			
軽油		%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 31 号 付属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m2 当 り					

SCB410041

J01 全仕上り厚（実数入力） [mm] = 150

J03 材料 = 7

路盤材（各種）

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 32 号 単価表

小型バックホウ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
小型バックホウ(クローラ) [標準・超低騒音型]	排出ガス対策型(第3次基準)山積0.09~0.11m ³	供用日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK430540

J01 打換え区分 = 2

舗装版のみの打換え

第 33 号 単価表

タイヤローラ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
タイヤローラ [普通型]	運転質量 8 ～ 2 0 t	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK430150

J01 打換え区分 = 2

舗装版のみの打換え

第 34 号 単価表

振動ローラ運転

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手（特殊）		人				
軽油		L				
振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式]	運転質量 3 ～ 4 t	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SWK430550

J01 打換え区分 = 2

舗装版のみの打換え

第 35 号 単価表

構造物とりこわし

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	昼間 機械施工 制約無	m3	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m3 当り					

SWB824010

J01 構造物区分 = 2 鉄筋構造物
 J03 時間的制約の有無 = 1 無し
 J05 低騒音・低振動対策 = 2 不要

J02 工法区分 = 1 機械施工
 J04 夜間作業の有無 = 1 無し

第 36 号 単価表 殻運搬 1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 2

J03 DID区間の有無 = 2

J13 費用の内訳 = 1

コンクリート (鉄筋) 構造物とりこわし

有り

全ての費用

J02 積込工法区分 = 1

J04 運搬距離 (km) (DID区間有無) = 3 5.7km以下

機械積込

数量総括表

工種	種別	細別	規格		単位	設計数量
舗装工	舗装打換え工	As舗装版切断	t=15cm以下	72.00 + 1.00 + 0.80 + 1.80 = 75.6 本工事 75.60 = 75.6	m	76
		汚泥運搬処理 (株ダイセキ) 片道距離:8.9km	アスファルト 舗装版切断排水 現場発生品横込・荷卸 現場発生品運搬	切断延長(試料採取含む) 83.10 × 0.0017 × 1000.00 = 141.3 ドラム缶 濁水 (20.50 + 141.27) / 1000.00 = 0.16	kg	141
					t	0.2
					t	0.2
		舗装版破碎積込 (小規模)	t=5cm以下	別紙舗装工計算表参照 67.07 + 1.58 + 6.10 = 74.8 舗装仮復旧 74.75 = 74.8 合計 74.75 + 74.75 = 149.5	m2	150
		As殻運搬 (株和幸) 距離:4.9km	As殻	面積(試料採取含む) (149.50 + 1.25) × 舗装厚 0.05 = 7.5	m3	8
		As処分量	As殻	体積 7.50 × 単位体積重量 2.35 = 17.6	t	18
		下層路盤(歩道部)	t=20cm RC-40	別紙舗装工計算表参照 14.86 + 0.54 = 15.4	m2	15
		上層路盤(歩道部)	t=15cm MS-25	別紙舗装工計算表参照 67.07 + 1.48 = 68.6	m2	69
		表層(車道・路肩部)	t=5cm 再生密粒度As(13) (溶融スラグ入り)	別紙舗装工計算表参照 67.07 + 1.48 + 6.10 = 74.7 舗装仮復旧 74.70 = 74.7 合計 74.70 + 74.70 = 149.4	m2	149
		床掘 No.0～No.7+8.9	小規模	別紙土工計算表参照 2.61 + 18.35 + 0.01 + 0.16 = 21.1	m3	20
		埋戻 No.0～No.7+8.9	発生土	別紙土工計算表参照 1.90 + 0.01 = 1.9	m3	2
		路盤廃材運搬	路盤廃材	別紙土工計算表参照 18.35 + 0.16 = 18.5 本工事 18.51 = 18.5	m3	20
		路盤廃材処分		体積 18.50 × 単位体積重量 2.04 = 37.7	t	38

排水構造物工

作業土工

工種	種別	細別	規格											単位	設計数量				
排水構造物工	側溝工	消音型側溝布設	400×400×2000	14.0										m	14				
			400×500×2000	58.0										m	58				
			400×600×2000	6.9										m	7				
			300×300×1000	1.0										m	1				
		側溝コンクリート蓋	T-25 400用	78.9	÷	0.5	×	0.9	=	142.0	枚	142							
		側溝グレーチング蓋	T-25 400用	78.9	÷	0.5	×	0.1	=	15.8	枚	16							
		側溝コンクリート蓋	T-25 300用	1.0	÷	0.5	-	1	=	1.0	枚	1							
		削孔	図面参照																
			φ50	2.00							=	2.0	孔						
			φ75	1.00							=	1.0	孔						
			φ100	4.00							=	4.0	孔						
			φ150	1.00							=	1.0	孔						
		合計	2.00	+	1.00	+	4.00	+	1.00	=	8.0	孔	8						
		調整コンクリート (人力打設)		別紙調整コンクリート計算表参照										小 計 = 4.3	m3	4			
	土間コンクリート		延長 59.50										×	幅 0.55	= 32.7	m2	33		
擦り付けアスファルト (表層(車道・路肩部)にて集計)		延長 11.00										×	幅 0.55	= 6.1	m2				
集水樹設置工	集水樹	500×500 700×500	図面参照											基 基	1 1				
運搬処理工	構造物取壊し・殻運搬	有筋co	既設U字溝部断面 0.08										×	延長 14.0	+				
			既設U字溝部断面 0.095										×	延長 58.0	+				
			既設U字溝部断面 0.110										×	延長 6.9	+				
			蓋断面積 0.05										×	延長 78.9	+				
			既設U字溝部断面 0.09										×	延長 1.08	+	蓋断面積 0.05	×	延長 1.08	
			土間コン設置部 32.70										×	厚み 0.10	+	横断接続部 0.01	= 14.8	m3	15.0
仮設工	水替工	ポンプ排水		3										日	3				
	交通管理工	交通誘導員		45										人	45				
準備工	試料採取	試掘		L	0.5	W	0.5	H	0.4										
		舗装版切断工 アスファルト舗装版 舗装厚:50mm	t=15cm以下	延長 辺 箇所 0.5 3.0 5 = 7.5										m	8				
			舗装版破碎工 アスファルト舗装版 舗装厚:50mm	t=15cm以下	延長 幅 箇所 0.5 0.5 5 = 1.25										m2	1			
		床掘工 路盤掘削			延長 幅 厚さ 箇所 0.5 0.5 0.35 5 = 0.4										m3	0.4			
			下層路盤工(歩道部)	t=20cm RC-40	延長 幅 箇所 0.5 0.5 5 = 1.25										m2	1			
		上層路盤工(歩道部)		t=15cm MS-25	延長 幅 箇所 0.5 0.5 5 = 1.25										m2	1			
			表層(車道・路肩部) 1.4m未満	t=5cm 再生密粒度As(13) (溶融スラグ入り)	延長 幅 箇所 0.5 0.5 5 = 1.25										m2	1			

鋪裝工計算表

車道・路肩部 1.4m未満	測点間距離(m)	舗装版破砕工			表層工			上層路盤工			下層路盤工		
		幅員(m)	平均(m)	平積(m ³)	幅員(m)	平均(m)	平積(m ³)	幅員(m)	平均(m)	平積(m ³)	幅員(m)	平均(m)	平積(m ³)
No.0	10.00	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.161	0.161	1.610
No.1		0.85			0.85			0.85			0.161		
No.1	4.00	0.85	0.85	3.40	0.85	0.85	3.40	0.85	0.85	3.40	0.161	0.161	0.644
No.1+4. 0		0.85			0.85			0.85			0.161		
No.1+4. 0	6.00	0.85	0.85	5.10	0.85	0.85	5.10	0.85	0.85	5.10	0.191	0.191	1.146
No.2		0.85			0.85			0.85			0.191		
No.2	10.00	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.191	0.191	1.910
No.3		0.85			0.85			0.85			0.191		
No.3	10.00	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.191	0.191	1.910
No.4		0.85			0.85			0.85			0.191		
No.4	10.00	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.191	0.191	1.910
No.5		0.85			0.85			0.85			0.191		
No.5	10.00	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.191	0.191	1.910
No.6		0.85			0.85			0.85			0.191		
No.6	10.00	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.85	0.85	8.50	0.191	0.191	1.910
No.7		0.85			0.85			0.85			0.191		
No.7	2.00	0.85	0.85	1.70	0.85	0.85	1.70	0.85	0.85	1.70	0.191	0.191	0.382
No.7+2. 0		0.85			0.85			0.85			0.191		
No.7+2. 0	5.50	0.85	0.85	4.68	0.85	0.85	4.68	0.85	0.85	4.68	0.221	0.221	1.216
No.7+7. 5		0.85			0.85			0.85			0.221		
No.7+7. 5	1.40	0.85	0.85	1.19	0.85	0.85	1.19	0.85	0.85	1.19	0.221	0.221	0.309
No.7+8. 9		0.85			0.85			0.85			0.221		
小 計	78.90			67.070			67.070			67.070			14.857

合 計	78.90	67.07			67.07			67.07			14.86		
-----	-------	-------	--	--	-------	--	--	-------	--	--	-------	--	--

土工計算表

	測点間距離(m)	床掘り(土砂)			床掘り(路盤)			既設側溝			埋戻し(土砂)		
		断面積(m ²) (CAD計測)	平均(m ³)	体積(m ³)	断面積(m ²) (CAD計測)	平均(m ³)	体積(m ³)	断面積(m ²) (CAD計測)	平均(m ³)	体積(m ³)	断面積(m ²) (CAD計測)	平均(m ³)	体積(m ³)
No.0	10.00	0.020	0.020	0.200	0.227	0.227	2.270	0.080	0.080	0.800	0.011	0.011	0.110
No.1		0.020			0.227			0.080			0.011		
No.1	4.00	0.020	0.020	0.080	0.227	0.227	0.908	0.080	0.080	0.320	0.011	0.011	0.044
No.1+4.0		0.020			0.227			0.080			0.011		
No.1+4.0	6.00	0.034	0.034	0.204	0.233	0.233	1.398	0.095	0.095	0.570	0.025	0.025	0.150
No.2		0.034			0.233			0.095			0.025		
No.2	10.00	0.034	0.034	0.340	0.233	0.233	2.330	0.095	0.095	0.950	0.025	0.025	0.250
No.3		0.034			0.233			0.095			0.025		
No.3	10.00	0.034	0.034	0.340	0.233	0.233	2.330	0.095	0.095	0.950	0.025	0.025	0.250
No.4		0.034			0.233			0.095			0.025		
No.4	10.00	0.034	0.034	0.340	0.233	0.233	2.330	0.095	0.095	0.950	0.025	0.025	0.250
No.5		0.034			0.233			0.095			0.025		
No.5	10.00	0.034	0.034	0.340	0.233	0.233	2.330	0.095	0.095	0.950	0.025	0.025	0.250
No.6		0.034			0.233			0.095			0.025		
No.6	10.00	0.034	0.034	0.340	0.233	0.233	2.330	0.095	0.095	0.950	0.025	0.025	0.250
No.7		0.034			0.233			0.095			0.025		
No.7	2.00	0.034	0.034	0.068	0.239	0.239	0.478	0.110	0.110	0.220	0.025	0.025	0.050
No.7+2.0		0.034			0.239			0.110			0.025		
No.7+2.0	5.50	0.052	0.052	0.286	0.239	0.239	1.315	0.110	0.110	0.605	0.043	0.043	0.237
No.7+7.5		0.052			0.239			0.110			0.043		
No.7+7.5	1.40	0.052	0.052	0.073	0.239	0.239	0.335	0.110	0.110	0.154	0.043	0.043	0.060
No.7+8.9		0.052			0.239			0.110			0.043		
合 計	78.90			2.61			18.35			7.42			1.90

令和 8 年度

数量計算書（調整コンクリート）					
	測点間 距 離	調整コンクリート			
		厚み	平均厚み	側溝内幅	立積
自 No.0	10.00	0.149	0.135	0.53	0.71
至 No.1		0.120			
自 No.1	4.00	0.120	0.090	0.53	0.19
至 No.1+4.0		0.060			
自 No.1+4.0	6.00	0.160	0.151	0.53	0.48
至 No.2		0.142			
自 No.2	10.00	0.142	0.126	0.53	0.66
至 No.3		0.110			
自 No.3	10.00	0.110	0.096	0.53	0.50
至 No.4		0.082			
自 No.4	10.00	0.082	0.079	0.53	0.41
至 No.5		0.075			
自 No.5	10.00	0.075	0.080	0.53	0.42
至 No.6		0.084			
自 No.6	10.00	0.084	0.080	0.53	0.42
至 No.7		0.075			
自 No.7	2.00	0.075	0.066	0.53	0.06
至 No.7+2.0		0.056			
自 No.7+2.0	5.50	0.156	0.134	0.53	0.39
至 No.7+7.5		0.112			
自 No.7+7.5	1.40	0.112	0.081	0.53	0.06
至 No.7+8.9		0.050			
計	78.90				4.30

舗装工計算表(始点部)

車道・路肩部 1.4m未満	測点間距離(m)	舗装版破碎工			表層工			上層路盤工			下層路盤工		
		幅員(m)	平均(m)	平積(m ²)	幅員(m)	平均(m)	平積(m ²)	幅員(m)	平均(m)	平積(m ²)	幅員(m)	平均(m)	平積(m ²)
No.0a	1.08	0.80	0.80	0.86									
No.1a		0.80											
No.1a	0.72	1.00	1.00	0.72									
No.2a		1.00											
小 計	1.80			1.580									

舗装工計算表(始点部)

車道・路肩部 1.4m未満	測点間距離(m)	舗装版破碎工			表層工			上層路盤工			下層路盤工		
		幅員(m)	平均(m)	平積(m ²)	幅員(m)	平均(m)	平積(m ²)	幅員(m)	平均(m)	平積(m ²)	幅員(m)	平均(m)	平積(m ²)
No.0b	0.80				0.60	0.60	0.48	0.60	0.60	0.48	0.300	0.300	0.240
No.1b					0.60			0.60			0.300		
No.1b	1.00				1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.300	0.300	0.300
No.2b					1.00			1.00			0.300		
小 計	1.80						1.480			1.480			0.540

合 計	1.80	1.58			1.48			1.48			0.54		
-----	------	------	--	--	------	--	--	------	--	--	------	--	--

土工計算表
消音型側溝(300×300)・集水柵(□500×500)土工計算書

	測点間距離(m)	床掘り(土砂)			床掘り(路盤)			埋戻し(土砂)		
		断面積(m ²) (CAD計測)	平均(m ²)	体積(m ³)	断面積(m ²) (CAD計測)	平均(m ²)	体積(m ³)	断面積(m ²) (CAD計測)	平均(m ²)	体積(m ³)
No.0a	0.80	0.013	0.013	0.010	0.151	0.151	0.121	0.013	0.013	0.010
No.1a		0.013			0.151			0.013		
No.1a	1.00	0.001	0.001	0.001	0.042	0.042	0.042	0.001	0.001	0.001
No.2a		0.001			0.042			0.001		
合 計	1.00			0.011			0.163			0.011

工 事 特 記 仕 様 書

第1章 総 則

第 1 条(適用)

この特記仕様書は、千葉県土木工事共通仕様書(令和7年10月改定)(以下、「共通仕様書」という。)という特記仕様書で、本工事の施工に適用する。ただし、契約時に最新の改定版が出ている場合は、最新版を本工事の施工に適用する。

第 2 条(工事の目的)

本箇所の道路側溝は、老朽化等により、排水機能に支障をきたしており、道路幅員も狭いため、地元要望が強く、整備することにより、良好な道路環境の保全に資するものである。

第 3 条(通則)

1. 本工事の受注者は、工事請負契約書、共通仕様書、設計書、本特記仕様書等および関係法規に基づいて施工しなければならない。
2. 受注者は、本工事の施工にあたり、常に監督員と連絡を密にし、工事内容に疑義を生じた場合には、速やかに報告しその都度監督員の指示を受けなければならない。

第 4 条(設計変更)

設計変更等については、契約書第18条から第26条及び土木工事共通仕様書第1編共通編1-1-14から1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「建設工事請負契約に係る設計変更等ガイドライン令和4年4月」(木更津市)によることとする。

第 5 条(コリンズへの登録)

受注者は受注時又は変更時において工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は 工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。

なお、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督者に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものである。

第 6 条(施工管理)

1. 本工事の施工にあたっては、千葉県県土整備部が定める千葉県土木工事施工管理基準（令和7年度版）及び規格値によるものとする。
2. 工事写真管理は、千葉県土木工事施工管理基準に記載する写真管理基準（令和7年度版）による。
3. 工事写真の用紙は、厚み0.15mm 程度とし、写真用・インクジェット用等を使用するものとする。

第 7 条(工事中の安全確保)

1. 工事の施工にあたっては、道路工事保安施設設置基準（令和元年5月21日国関整道管第8号）に基づき適切な交通管理を行うものとする。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議するものとする。
2. 工事実施期間中は、公道の出入口等に誘導員を配置させ安全確保に努めなければならない。
3. 工事期間中は、夜間における安全確保のため保安要員を巡回させ道路灯、バリケード等の保安施設の安全点検を行うものとする。
4. 工事の施工に際し、事前に地下埋設物の調査を行い埋設物がある場合は、その管理者と発注者と受注者が現地立会のうえ、当該物件の位置深さ等を確認し、保安対策について十分打ち合わせを行い、事故の発生を防止しなければならない。
5. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、監督員に報告するとともに、関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
6. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置について占用企業全体と発注者と受注者が立会い、管理者を明確にしなければならない。

第 8 条(工事現場管理)

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 過積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また、積み込ませないこと。
2. さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また、積み込ませないこと。
3. 受注者は、ダンプトラックを使用する工事施工に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年法律第131号）の目的に鑑み、同法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体への加入者の使用を促進するよう配慮するものとする。
4. 受注者は、下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
5. 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
6. 取引関係にあるダンプカー事業者が過積載を行い、または、さし枠装着車、不表示車を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

7. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
8. 不法・違法無線局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。
9. 以上のことにつき下請業者にも十分指導すること。

第 9 条(使用機械)

本工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する特定特殊自動車、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用しなければならない。ただし、指定されていない建設機械を使用する場合は監督員と協議するものとする。

また、本工事においては騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督員の承諾を得なければならない。

第 10 条(安全訓練等の実施)

本工事の施工に際し、現場に即した安全訓練等について工事着手後原則として作業全員の参加により月当たり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全訓練等を実施するものとする。

1. 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
2. 本工事内容等の周知徹底
3. 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
4. 本工事における安全対策訓練
5. 本工事現場で予想される事故対策
6. その他、安全訓練として必要な事項

第 11 条(安全訓練等に関する施工計画の作成)

施工に先立ち施工計画書に本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

第 12 条(安全訓練等の実施状況報告)

安全訓練等の実施状況を報告するものとする。

第 13 条(環境対策)

受注者は、千葉県が運用している環境マネジメントシステムの構成要素をなす「公共事業における環境影響の低減」を推進し達成するため施工計画の環境対策内に独立した項目として「環境に配慮した工事の実施計画」について記載するものとする。

第 14 条(工期及び作業時間帯)

1. 本工事は、週休2日制適用工事である。
2. 週休2日制の実施にあたっては、「千葉県週休2日制適用工事実施要領(令和7年10月版)」に記載された方法に基づき行うこと。
3. 受注者は、現場閉所による週休2日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休2日(4週8休以上)達成相当の経費を補正している。
4. 昼夜間連続作業を行う工事等、現場閉所を行うことが明らかに困難な工事と認められる場合は、受発注者間で協議し週休2日交代制工事に変更することができる。
5. 受注者が、工事着手前に完全週休2日(土日)の取組を希望し、かつ対象期間内において完全週休2日(土日)相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものとする。
6. 工期は、雨天・休日等を見込み、令和 8 年 11 月 30 日までとする。

工期には、施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。

準備期間	40日間
後片付け期間	20日間
雨休率 ※休日と天候等による作業不能日を見込むための係数 $\text{雨休率} = (\text{休日数} + \text{天候等による作業不能日}) / \text{実働日数}$	0.78
その他の作業不能日 地元の催事など混雑や交通規制等を含むもの	—

天候等による作業不能日は以下を見込んでいる。

イ)1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日:42日間/年間

ロ)8時から 17 時までの WBGT 値が 31 以上の時間を足し合わせた日数:5日間/年間

(少数第1位を四捨五入(整数止め)し、日数換算した日数)

(過去5か年(2021年1月～2025年12月)の気象庁(千葉特別地域観測所)及び環境省(千葉特別地域観測所)のデータより年間の平均発生日数を算出)

7. 著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程(官積算)で見込んである日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

なお、休日等には、日曜日・祝日・その他作業期間内の全土曜日を含んでおり、本工事において、交通規制を伴う工事の時間帯については9時から17時とする。

また、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

第 15 条(電子納品)

1. 本工事の成果品は電子納品とすることができる。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領(令和8年2月):(以下、「要領」という。))」に基づいて作成した電子データを指す。
2. 成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で正副2部提出する。「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】(令和8年2月)」を参考にするものとする。
3. 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第 16 条(法定外の労災保険の付保)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第2章 建設副産物

第 17 条(共通事項)

1. コブリス・プラスの登録対象工事については、当該工事に関する必要な情報を登録し、監督員へ書類の提出をすること。
なお、「建設副産物情報交換システム」と明示されているものについては、当面の間「コブリス・プラス」に読み替えるものとする。
「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」(平成31年4月最終改正)に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。
また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を作成し、「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」と合わせて提出するとともに、これからの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
○作成対象工事
請負金額100万円以上のすべての工事について建設資材利用、建設副産物の発生・排出の量の大小及び有無にかかわらず作成する。
2. 建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し監督員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
3. 建設廃棄物の処理を委託する場合は、運搬あるいは処理について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。

4. 建設副産物の処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督員に 2 部提出するとともに、実際に要した処理費等(受入伝票、写真等)を証明する資料を監督員に提出し確認を受けること。
5. 建設廃棄物の処理にあたっては、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式の場合は、複写式伝票のD票及びE票の写しを提出すること。
また、電子マニフェスト方式による場合は、建設廃棄物引き渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録した情報をパソコンにより印刷し提出すること。

第 18 条(建設発生土)

1. 本工事により発生する建設発生土は、株式会社() (平均片道距離 km)に運搬する。

第 19 条(建設廃棄物)

1. 本工事により発生する路盤廃材・アスファルト殻は、(株)和幸(木更津市菅生 247 の一部他)(片道距離 4.9km)に運搬し、処理するものとする。
2. 本工事により発生するアスファルト舗装版切断濁水は、(株)ダイセキ(袖ヶ浦市南袖23番地8)(片道距離8.9km)に運搬し、処理するものとする。
3. 運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督員に報告するものとする。工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

第3章 建設リサイクル法

第 20 条(特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置)

1. 本工事が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)。以下「建設リサイクル法」という」に基づく対象建設工事である場合は、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
なお、建設工事請負約款の「解体工事に要する費用等」については、契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が条件明示した事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。
ただし、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は、協議するものとする。
2. 受注者は特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告するものとする。
 - ・再資源化等が完了した年月日
 - ・再資源化等した施設の名称及び所在地
 - ・再資源化等に要した費用なお、書面に添付する資料は国土交通省が定める「建設リサイクルガイドライン」に定められた様式1[再生資源利用計画書(実施書)]及び様式2[再生資源利用促進計画書(実施書)]を使用するものとする。

第21 条(請け負おうとする建設業者からの事前説明に関する事項)

1. 建設リサイクル法第12条で、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対し対象建設工事の届出に関する事項に記載した書面(説明書)を提出し説明を行うこととする。
2. 書面の提出は、契約に先立って行うこととする。
3. 書面は施工計画書に添付するものとする。

第4章 材 料、品質管理、出来形管理

第 22 条(使用材料)

本工事に使用するアスファルト合材は溶融スラグ入りを使用すること。

第 23 条(確認)

工事に使用する材料は、品質を証明する資料(品質証明書、成績表)を提出しなければならない。

第 24 条(品質管理)

品質検査は、照合による検査(品質外観、品質規格証明等照合して判定することをいう)を原則とする。

工事材料について資料の提出、検査を前提に定めたが、JIS規格外等でこれによりがたい場合は、試験方法及び監督員の立会承諾等の有無など他の方法を明記した資料を提出すること。

第 25 条(出来形管理)

共通仕様書の出来形管理基準に基づくアスファルト舗装工(表層工)において、コア採取及び平坦性試験は舗装施工面積が200m²を超える場合に適用する。

施工条件明示表

工事名 R8 側溝整備工事(市道3124号線)

工事箇所 木更津市木更津二丁目3番地先

工程関係	1. 工事発注後速やかに施工計画を検討し、工程については遅延のないよう努めること。
用地関係	1. 用地境界線については、施工前に測量し復元可能な状態で細心の注意をはかり施工すること。
公害対策関係	1. 工事の施工に伴い、第三者に被害(騒音・振動・防塵等)を及ぼすことがないように十分注意し作業すること。
安全対策関係	1. 車両の誘導を的確に行い、歩行者等の通行を確保し施工すること。 2. 標識類等の安全施設については、現場条件に応じて設置すること。
工事用道路関係	1. 一般道を使用する際に損傷等を与えない様に十分留意すること。また損傷等生じた場合は、請負者の責において原形に復すること。
仮設備関係	1. 仮設備については、設計に従うほか、内容を十分検討し事故等が発生しないよう施工すること。
建設副産物関係	1. 特記仕様書によること。
工事支障物件等	1. 本工事箇所は上下水道、ガスの地下埋設物があるので、施工の際は損傷等を与えない様に十分留意すること。 工事施工上の支障物件となり移設等が必要な場合は協議すること。 架空線下で作業する際は、三角旗等を設置し損傷等を与えない様に十分留意すること。
その他	1. 工事用機材の保管にあたっては、荷崩れ等による事故及び盗難等が発生しないよう十分検討すること。 2. 新設する側溝の計画高さ(側溝底高)は起点が上流側溝底の高さ以下かつ終点が下流側溝底の高さ以上となるようにし、排水の逆流が起こらないように留意すること。